

平成30年度 事業報告書

日本リザルツ平成31年2月8日作成



02 FEBRUARY

2018 年 02 月 01 日

G7 シェルパ会合が開催

1月30日、31日、G7シェルパ会合が開催されました。日本からも市民社会の皆さんが出席し、G7シェルパとの話し合いがもたれたとのことです。日本リザルツのパートナーであるカナダ・リザルツが現在、G7の主要議題に保健を入れるようワーキンググループの立ち上げを行っています。

日本リザルツも関係各機関に掛け合い、保健分野の協議が行われるよう努力しています。

国際保健分野の改善に向けてG7での、各首脳の話し合いは非常に重要です。

UHC フォーラム2017を成功させるなど、保健分野に造詣の深い日本がリーダーシップを発揮し、G7で主要議題として取り上げられることを願っています。

議連合同による栄養シンポジウムについて

1月25日、「パネルディスカッションにおける先生方による熱のこもったご議論を拝聴し、今回の会議が、東京で開催の2020栄養サミットへのキックオフになり、大変重要なエポックとなったという気持ちを強く持ちました。皆様のお話に対する感動も覚えると同時に、本当に身の引き締まる思いです。

また、議連の先生方を始め、基調講演をされた国連食糧農業機関(FAO)、国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)等の国連機関、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、Scaling Up Nutrition (SUN)の専門家に加えて、関係各省庁、企業からも政策や事業のご説明を頂戴しました。総勢 250 人に上る方々が本テーマの関係者、ステークホルダーとして、雪明けで冬空の寒い中お集まり頂き本当に有難うございました。改めて感謝申し上げます。我々市民社会も本テーマの重要性を一般国民と関係者の皆様にアピールする活動を、より一層励まなければ、との思いを新たにしました。

今回のキーワードは、「栄養、お母さん、子どもたち」であり、第一部「アフリカと栄養」、第二部「難民と栄養」及び第三部「オリパラに向けて～地球市民として栄養・食・いのちを考える」というように、「栄養」という重要な横軸のもと個別の課題を皆で考え、取組む力強い体制が構築されました。第一部の対象地域はアフリカ、第二部の難民問題ではパレスチナ地域が焦点となり、第三部では、スポーツ分野でも大事なトピックスである栄養に加え、「食」というより広い視点での議論に発展したことも注目されます。2020 年へ向けたキックオフ宣言もあり、会場の一体感が高まり、更に盛り上がりました。

また、基調講演では、第一部、FAO により、アフリカにおける栄養不良が世界と比べて高く、その原因の説明と改善に向けて、食生活改善などの日本の経験への期待が示されました。ゲイツ財団からは、持続可能な開発目標(SDGs)やユニバーサルヘルスカバレッジ(UHC) などグローバルレベルの会議における栄養問題の在り方に触れつつ、世界の栄養不良の現状、進捗率についてのレビューとともに、同財団が取組む栄養戦略についても情報提供がありました。第二部では、ピエール・クレヘンビュール UNRWA 事務局長と清田明宏保健局長が、パレスチナで戦後長年に亘り続けている UNRWA の難民支援の現状に関して、今回の栄養不良問題と関連付けて説明されました。食糧支援は必要であるが、現地の人々への支援の基本は彼らの尊厳を重んじることでありと強調され、支援の手法も単なる食糧支援ではなく、住民自らが健康に良い食品を購入することが重要で、そのためには食生活の基本的な知識の普及など教育の重要性にも触れておられました。なお、今回の米国による UNRWA への支援の削減問題への懸念と、これに関連して日本を含む世界の支援の重要

性を強調されていました。第三部では、SUN による栄養問題へのレビューなど、国際ネットワークからの貴重なインプットがあり参考になりました。

基調講演を踏まえて各部会で行われた議連の先生方によるパネルディスカッションでは、国際協力に関するご経験や、政策論など貴重なご意見が次々と述べられ、今後、2020 年に東京オリンピックの時期に開催される予定の栄養サミットに向けた基本的な考え方が開陳され、大変有意義でした。政策、現場の事業、企業や市民社会の関わりなど関係ステークホルダーが共同、強調しつつ推進する際には、こうした政治レベルでの意思の重要性を感じたところです。

靴の山(2 月 1 日現在)

昨年 5 月にケニアへの第一弾として、1.1 トンの靴を送ってから、第二弾を送る準備をしています。全国の皆さまがご厚意で送ってくださった靴！靴！靴！で現在は写真のような状況になっています！



2018 年 02 月 02 日

平成 29 年度理事会、総会

平成 29 会計年度の理事会、総会の時期を迎え準備を進めています。開催日時は 3 月 5 日(月)午後 5 時からリザルツ会議室で行う予定です。又、当日は浅野理事長にご講話を戴く事も考えています。

現在、河村公認会計士に会計監査を御願いし会計報告書作成中です。既に理事の方々にもご案内を始めています。できるだけ多くの方々にご出席頂ければ幸いです。

2018 年 02 月 03 日

【緊急】ドイツ大連立協議 NGO が金融取引税で twitter アクション、協力を！

ドイツの Groko (GroBe Koalition「大連立」の略)協議が4日までに合意を得るべく最終ラウンドに入っています。この動きに対し、オックスファム・ドイツは金融取引税を求めて、関係政党(3党)の指導者に対して twitter アクションを行っています。今回このアクションへの国際的なサポートを依頼するメールが届きましたので、紹介するとともに、ご協力をお願いします。

<オックスファム・ドイツからの依頼>

…前略…

大連立協議は今週末最終ラウンドに向けて行われていますが、この最終的な連立協定には野心的な FTT(金融取引税)を導入しその収入をグローバルな貧困と気候変動対策へ配分することを必ず含めること、このことを関係する政党に要求します。さらに、新政府が設置されたなら直ちにかつ確実に FTT が実施されるように力を入れてください！



大連立協議の一方の当事者、
シュルツ SPD 党首

残念ながら、それは(アクションを呼びかけている WEB サイトは)すべてドイツ語ですが、あなたがたが行動を取ってくれると私は確信しています。

私たちは国際的な支援を受けることができればたいへんハッピーです！

PIA SCHWERTNER 📞 Kampagnenkoordination Finanztransaktionssteuer

◎ツイッターの文面は、以下の通りのようですので、そのままツイートして OK です。

「貧困緩和と気候変動対策のための強力な金融取引税のない新たな Groko はない！ 最初の 100 日間にあなたの約束を守ってください！」

KANGEMI 幼稚園

RESULTS Japan 長坂、ナイロビスタッフのカルヴィン、CHV のメンバーと一緒に幼稚園の調査に行きました。安全を考え、警察の方も同行しています。



カンゲミにある幼稚園の園長先生に、幼稚園の園児数、教育方針・カリキュラム、授業料等を聞きました。その他、地区内の幼稚園の数や現状なども教えて頂きました。



続いて教室に案内して頂き、授業風景を見学しました。突然の来訪者にも関わらず、子どもたちは温かく出迎えてくれました！教室内は照明がない為、洞窟のようでした。また窓がなく、換気も出来ない状況です。



続いて2階に上がりますが…(驚)その様子は、来週のコラムにてお伝えさせていただきます。カンゲミ地区では、貧富の格差が非常に激しいことが問題になっています。富裕層が通っている幼稚園も調査をして来ましたので、随時情報を更新させていただきます。

2018年02月05日

IMPROVED RESPONSES TO TB AILMENT A GOOD STEP IN RESULT JAPAN WORK IN KANGEMI

Hospital and laboratory records in the Kangemi Health Centre have risen significantly over the last two months. The amount of reporting of prospective patients and the increase in referrals from the Community Health Volunteers is something worth writing home about.

This is a sign of a community that has now become aware of the threat that TB brings to its people. In that regard, it becomes necessary to heighten this awareness and stem up the fight against such a disease as TB.



Further, the increased number of CHVs is good for RJ since we will be able to reach as many people as possible and make sure that the TB problem is dealt with zero tolerance.

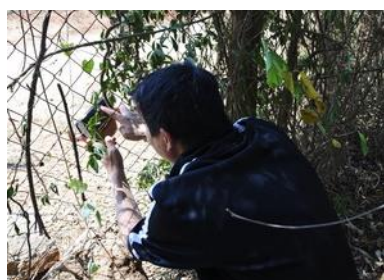
The Nairobi City County and the Kenya Ministry of Health have written to the Sub-County office recognizing our enormous efforts fighting TB in the area. We hope that in the next three months, we will have the highest rank as the best team fighting TB in the Nairobi County.

2018 年 02 月 06 日

どーらのケニア珍道中

霞が関の魔法使いどーらは、1月25日深夜に日本を出国し、一旦ケニアに入国。日本リザルツが実施しているナイロビ地区の結核抑止プロジェクトの CHV 修了式に参加した後、その足で、リザルツ教育基金の会議への参加のためポルトガルのリスボンに向かいました。リスボンには、1月28日から2月1日まで滞在し、各国のリザルツ関係者と激しい討論を繰り広げたそうです。

そのまま日本に帰るのでは？と思ったそこのあなた。スーパー魔法使いどーらはここからが違います。なんと、リスボンから、ケニアに戻ってきたのです。なんという超人なのでしょう！2月4日(日)には休日返上で、ケニアの伝統的な建物の視察を行いました。珍しい建物、植物、動物にどーらもびっくりしておりました。どーらは、7日までケニアに滞在し、8日に日本に戻る予定です。



2018 年 02 月 07 日

巨額の損失発生！ 5-6 日の米株相場の乱高下で見えなかったリスクが顕在

5 日の米株式市場での暴落や 6 日のジェットコースターのような急落・急騰(567ドルの大幅高で引けたが)の結果、実はまったく予想していなかった金融商品(「恐怖指数」絡みの商品)で巨額の損失が発生したようです。それは低ボラティリティー(相場の変動(率))に賭ける金融商品でして、下記の日経新聞によれば2つの



代表的な商品で、「運用資産総額が 30 億ドルから 2 日間で 1 億 5000 万ドルに縮小」したとのこと。たった 2 日間で 28 億 5000 万ドル(約 3100 億円)が吹っ飛んだことになりますので、かの盗まれた仮想通貨 NEM の 580 億円の 5 倍強にもなり、確かに巨額ではありますが、実はこんな程度ではないようです。

「恐怖指数」絡みの低ボラティリティーに賭ける金融商品は全体でどのくらい投資(運用)されているのかと言いますと、何と 2 兆ドル(約 218 兆円)！！余りに見積もられているとのことです(下記ブルームバーグ参照)。

え？これが本当であれば、確かに日経新聞で書かれている損失よりはるかに巨額になりそうです。この損失額が、実際に全体としてどの程度のものになるのか、また上記金融商品を売っていたクレディ・スイスや野村証券は取引を停止したようですが、他の金融会社はどうなのか、全体の金融市場にどのような影響を及ぼすのか等々、注視していかなければなりませんね。また、金融バブルをしぼませる方法は、取引に税をかけること、つまり金融取引税が有効です。その税収をSDGs達成のために使うことができれば一石二鳥です。

【日経新聞】「恐怖指数」絡みの商品に怖さ

…前略

この日(注:2月6日)のダウ平均の値幅は1100ドルに達した。嵐のような相場を経て、これまで見えなかったリスクも露呈した。デリバティブ(金融派生商品)を利用した金融商品が予想外の相場変動(ボラティリティー)に直面して一気に損失を出したためだ。

中でもボラティリティーの激しさを示すVIX指数(通称・恐怖指数)がらみの金融商品で巨額の損失が発生した。一部投資家はVIX指数が下がると価格が上がる「インバースVIX」連動の上場投資信託(ETF)やその関連商品である上場投資証券(ETN)に投資して高収益を上げていたが、前日の相場急落で一気に損失を被った。

…中略

これらの商品は、ボラティリティーが低ければ低いほど価格が上昇する。2017年を通じて「なぎ相場」が主流だった市場環境で高収益を誇った。ヘッジファンドなど相場の上下にかかわらず収益を上げることを目標にする投資家にとっては格好の投資先となった。

…後略

【bloomberg】元ゴールドマンのVIXトレーダー、株売り収束までに一段の痛み予想

【ロイター】アングル:米VIX逆張り証券の損失、個人投資家を直撃

米国株が急変動しないことに賭ける上場投資商品(ETP)の価格が、5日の株価急落とともに急落した。複雑な金融商品にもかかわらず、最近では多くの個人投資家が手を出しており、急落によって傷を負っている。…以下、省略

通学路

15:00 過ぎになると、この道を釜石児童が駆け抜けていきます。相談室の前で立ち止まる児童も多くなってきました。

学校の事、友達の事、家族の事、将来の夢

『アメの先生、今日ね〜♪…』

『アメのおじちゃん！あのねっ！！あのねっ！！！！…』

色々な事を笑顔いっぱいにして、伝えてくれます。

不安な事、辛かった事、悩んでいる事、

溜めこんだ気持ちを、訥々と話してくれる児童も存在しています。色々な気持ちを抱えながら、彼ら、彼女らは、この通学路を駆け抜けていきます。児童の気持ちに寄り添いながら、相談室は何かができるか、何をすべきかを模索している毎日です。



2018 年 02 月 08 日

ユリと目薬

ナイロビにて事務用品の買出しに向かった先のお花屋さんに綺麗なユリが飾ってありました。
男ばかりの事務所の雰囲気を変えようと、ユリを飾ることにしました。事務所に戻って早速、代表の白須に見せました。目の充血に長坂が気付いており、目薬をプレゼントしました。



飾ってから 5 日経ち、花が綺麗に咲きました。



KENYAN STAFF

In the spirit of knowing each other. I introduce to you the Kenya staff

Abuta Ogeto



Margaret Muruga – Nurse



Calvin Omondi – CHV Coordinator



We are also assisted by Peres Anyango



Lilian Nyokabi



A VISIT TO THE JAPANESE EMBASSY, NAIROBI

This blog was updated by Calvin, the field leader of RESULTS Japan office. On Tuesday, 2 pm, the Kenya team delegation paid a courtesy call to the Japanese ambassador, Mr. Toshitsugu Uesawa, at his office. A number of things were discussed.

Dead patients

The ambassador sent out his condolence message to the families, friends and close relatives of patients interviewed who died. On the issue of Patients not accessing medical services, he promised to work out substantive measures between the Kenyan and Japan governments to intervene to help such patients in the near future.



Community Health Volunteers

Mr. Uesawa endorsed the grassroots activities by CHVs within their locality in Kangemi and said he'll talk to the Japanese Government to continue their support by upgrading the social status and in future would consider having some of them join the TB program after fulfilling the recommended apparatus are met within the community.

Bicycles

After achieving this year's project objectives, later in the year, they might buy 100 bicycles for the recently trained CHVs after a constructive conversation with the Japanese Government.

2018 年 02 月 09 日

SATO のトイレを見学してきました

昨年 7 月 4 日に、世界トイレ大革命が発足してから早半年、遂にミセス・トイレであるどーらが、SATO のトイレを見学する日がやってきました。ナイロビから片道 2 時間近くかけて、LIXIL 様のサイトがある場所に向かいました。まずは家庭に設置されているものを見学します。



いわゆる「ぼっとん便所」と違い、嫌なにおいがしません。ミセス・トイレも、

実際に使い、「においもしないし、使いやすい！」と太鼓判を押していました。この家では、終わった後に水を流しているようで、非常に清潔に使用されていました。



次は、小学校を見学します(お食事中の方申し訳ありません)。



この学校では、SATO のトイレと、そうでないトイレの比較実験を行っています。



一般的に使用されているトイレ。
悪臭が漂います。



SATO のトイレはびっくりすることに
全くにおいがしません。



SATO のトイレは汚物の重さで
蓋が開閉するので、うまくいか
ないと蓋が開かないことも…

ミセス・トイレは「家庭での使用例のように用を足した後、水を流すとより清潔に利用できるのではないか」という提案をしていました。

水を流したら、ご覧の通り、きれいなトイレに！

この学校では 4 台の SATO を日本円でだいたい 3000 円くらいで導入したそうです。

低価格で、より安全で、きれいな環境でトイレは、世界トイレ大革命を成功させるうえで、大きな魔法の杖になるかもしれませんね。



最後は、LIXIL の北村さんと記念写真。
お忙しい中、有難うございました！



進学準備給付金

2月9日の公明新聞によると、政府が閣議決定した生活保護関連法案の中で、厚生労働省は2018年度から生活保護世帯の子供の大学進学支援を強化するそうだ。これによって生活保護を受けている家庭の子供には自宅通学生に一時金として10万円、自宅外通学生には30万円が支給される。生活保護世帯の進学率は2016年4月時点で33.1%と全世帯の73.2%を大きく下回っているが今回の取り組みはこうした格差を是正するものである。

又、現行の生活保護制度では、就労せずに大学進学する子供は家族から独立した別世帯として扱われ、生活保護の対象外となり生活保護費も減額されているが、厚生労働省では今年4月から、こうした場合も住宅扶助を減額しない運用を開始する。このほか厚生労働省は、高校卒業予定者がいる生活保護世帯が大学進学に向けた費用について相談や助言を受けられる体制なども整備するそうだ。

2020年4月から政府が実施する高等教育無償化により、低所得世帯の子供は入学金が免除され、給付型奨学金も支給される。こうした政府の取り組みにより、格差是正による進学率の上昇と教育水準の向上が望まれる。

栄養関連情報(生活習慣病防止に低栄養防止が重要)

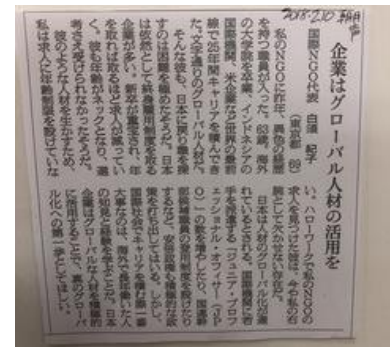
日本は世界一の長寿国であり、平均年齢は男女平均で84歳です。こうした中、近年、健康寿命とのギャップが縮まらないことが課題となっています。その課題への対応方法として、特に高齢者の食事のとり方について、専門家のアドバイスがありましたので、ご参考に掲載いたします。生活習慣病の予防には、低栄養の防止が必須であり、カロリー摂取がまず必要です。それに加えて、タンパク質、カルシウムなどの摂取が重要であり、カロリーの摂取には、間食なども菓子類よりも、リンゴ、バナナ等果物の摂取が推奨されています。バランスの取れた食事が重要であることがわかります。



2018 年 02 月 10 日

「企業はグローバル人材の活用を」

2 月 10 日(土)の朝日新聞声欄に、代表の白須による標記テーマの論考が掲載されましたのでお知らせいたします。今後の日本企業、組織にとって重要な提言と考えます。



ケニア トイレ視察・調査

先日、LIXIL(株)北村様に案内を頂き、SATOトイレの現場視察に行きました。ナイロビ市内より2時間程、車で移動してタンザニアまで後90Km程のサイトに向かいました。

ケニアの一般的なトイレ建設方法は、以下の通りです。

- 1 台辺り/直径1メートル、深さ7メートルの穴を掘る
2. 地面に直接、コンクリートで基礎を作る(掘った穴の周りをコンクリートで固め、成型する)。



2室、3室と連なる場合は、建物の長さに合わせて、トイレの中心が直径1メートルになる様に穴を掘っていくとの事です。トイレを新築されたお宅のトイレを見学させて頂きました。SATOトイレ+化粧タイル+バスルーム付きとの事で少し自慢をされていたらっしゃいました。ケニアのトイレには明かりがありません。トイレの穴が深く、蓋がないため、子供がトイレの穴に落ちてしまう事故も起きているそうです。



小学校では SATO のトイレを使い、比較実験をされていました。
左側 1 列を旧式、対面の右側 1 列を SATO 式に分けています。



旧式は蓋がないため、直接、汚物の臭いが穴から漂ってきていました。しかし、SATO 式トイレでは、てこの原理を使って、汚物が溜まると自動で蓋が開閉する仕組みを取り入れており、穴からの臭いを防いでいました。異臭もしません。こちらの学校では、2 時間に 1 回のトイレ清掃を行っているとの事です。清潔にトイレを使うためには掃除教育も重要であると感じました。



工事開始

日本リザルツは、外務省の協力のもと、ケニア・ナイロビのスラム街、カンゲミ地区で結核抑止プロジェクトを実施しています。今年度は、老朽化していた結核検査所の建て替えを行います。今日は、ケニア建設省・保健省が現場にお越し下さり、無事、工事が始まりました。検査所の建設予定地には、大きな木がありました。新たな検査所を建てるために、この木を切り倒すことになりました。



最後は、建設省・保健省・KANGEMI HEALTH CENTRE と日本リザルツのスタッフで記念撮影を行いました。住民、スタッフの皆さんが使いやすい施設ができるよう頑張ります！



2018 年 02 月 12 日

結核患者さんの声を聞いてきました(2018 年 version)

日本リザルツは、ケニアで結核抑止プロジェクトを行っています。今日はスラム街・カンゲミ地区の結核患者さんのお宅を訪問し、お話をうかがってきました。安全第一のため、警察官を2人帯同して、行動しています。今日はまず、結核で亡くなった方のご家族のお宅を訪問しました。アンジェリンは、息子のジョセフを結核で亡くしました。わずか42歳だったそうです。



2017年7月、ジョセフは嘔吐、咳、下痢などの症状を訴えます。ケニアの病院では、結核の喀痰検査は無料で行うことができますが、X線検査はお金がかかります。ジョセフ一家は貧しく、病院でX線検査を受けるお金がありませんでした。親戚などからお金を借り、漸く、病院に行けたのは12月。12月1日から治療を始めましたが、時すでに遅し。12月11日に、ジョセフは亡くなりました。「病院にすら行かせてやれず、本当に申し訳なかった」と、アンジェリンは振り返ります。ジョセフには2人子どもがいましたが、そのうち1人は結核で亡くなっています。カンゲミ地区の居住環境は良くありません。小さな部屋に多くの家族で住んでいます。そのため、家族を介した結核感染が増えているのです。



ジェームスは今年1月から結核の治療を開始しています。カンゲミ地区では、結核の再発患者が多いことも課題となっています。ジェームスも再発患者の1人です。2017年に一度結核を発症、6か月間の治療を終えました。今年に入り、前回、結核を発症したときと同様の症状が出たため、カンゲミ結核クリニックに行ったところ、結核陽性反応が出たそうです。結核治療中のため、ジェームスは現在仕事をしていません。彼の治療をサ



ポートするため、CHV が中心となり、近所の住民や家族に寄付を募っています。彼は、そのお金で通院費や生活費を工面しているそうです。

早く良くなりますように…という気持ちを込めて、今回は患者さんに折り鶴をプレゼントしました。日本では、病気になった方に千羽鶴を折って渡すことを伝えると、ジェームスも「頑張って、最後まで治療を続ける」と、力強い言葉をくれました。



今年からはカルヴィンに加え、看護師のマーガレットが仲間に加わりました。2 人と一緒に、より良い「結核患者の声」を収集し、より良い事業ができるよう、頑張りたいと思います。

KITE FLYING IN KANGEMI

This year, close to 1000 schoolchildren in Kangemi area will join in solidarity with their colleagues elsewhere in Gaza and Japan to fly kites in marking an important day in their life. They remember the disaster that happened in Japan, and commemorate it on World TB day, as a message to strengthen the fight against TB.



The event is expected to educate the children and teach them on how to interact with their colleagues elsewhere in the world.

We hope that at the end of time, it will be such a memorable and thrilling event, which will remain an inspiration in their life.

台湾地震

台湾東部を襲った6日深夜(日本時間7日未明)の地震で、花蓮県の12階建て集合住宅兼ホテル「雲門翠堤大樓」等4棟が倒壊状態となった。

出典: AFP 台湾地震の死者9人に 不明者は10人に減少、傾いたビルで捜索続く



この写真に衝撃を受けた方も多いと思う。現地当局によると、11 日までに確認された死者は 16 人、負傷者は 285 人。

2018 年 02 月 13 日

靴の山(2 月 13 日現在)

全国の皆さまから毎日送っていただいている靴の山の本日の写真です。先日もご紹介しましたが、ボランティアがせつせと整理しても追いつかない状況になっています！！



2018 年 02 月 14 日

はじめての折り紙

日本リザルツはケニア・ナイロビのスラム街、カンゲミ地区で結核アドボカシープロジェクトを行っています。現在、フィールドのリーダーであるカルヴィンと看護師であるマーガレットが、カンゲミ内を回り、結核患者さんの情報を集めています。先日、長坂が結核患者さんを訪問した際、折り鶴をお渡しました。

日本では早く良くなるようにという願いを込めて、病気になった人に千羽鶴を渡します。

この話に感銘を受けたマーガレットから、「自分が患者さんのもとを訪問する際に持っていきたい！」という要望があり、本日、折り紙講座が開かれました。最初は大苦戦。オリジナルの動物！？(写真下・白いもの)が出来上がりましたが、練習を重ねるうちにうまく折れるようになりました。黄色い鶴はマーガレットが折ったものです。4 羽の折り鶴を持ち、結核患者さんのもとに元気よく出かけていきました。

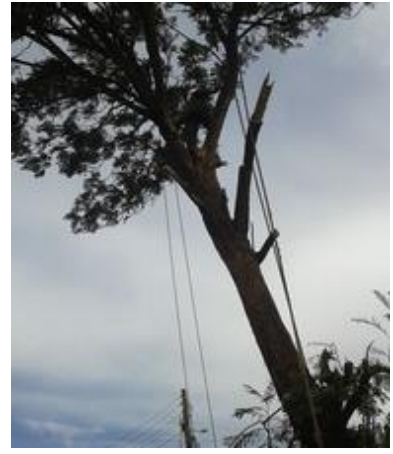


完成した鶴を持って、記念写真。なんと、今夜は 1 人で折り鶴づくりに挑戦するそうです。

願いをこめた折り鶴が 1 人でも多くの結核患者さんに届き、元気になるといいですね。

カンゲミ検査所 工事

ナイロビ結核予防・啓発活動の拡大事業の一つ、結核検査所の工事が始まりました。結核検査所の建設予定地には大きな木がありました。2 月 9 日、最初に木の伐採を行いました。



結核検査所を建築する場所には門がありました。この門も別の場所に移動する必要があります。まず、古い門を解体します。



撤去した門の場所に壁を作ります。



2月15日(木)は、新しい門を建てる予定です。そして、2月16日(金)には、クレーン、重機などを導入し、本格的な基礎工事が始まります。

姫井先生が来所されました。

姫井先生が来所されました。本日は憲政記念館で先生のパーティーがあります。



2018年02月15日

「姫井由美子を囲む会 2018」に出席

日本リザルツ理事である姫井由美子さんのお誕生会が、昨日14日に憲政記念館で行われ、弊事務所からは白須代表をはじめ、4名参加させていただきました。「姫井由美子を囲む会 2018」の開催前に「プリンセスアカデミー開講記念」プレミアムパネルディスカッション “人生100年時代を生き抜くレシピ” ～バレンタインに愛をこめて～ が開催されました。パネリストの皆さまの顔ぶれも多士済々で、お話しも大変興味深く、アツという間の1時間でした。



ファシリテーターの細木喜弘さんと姫井先生 左からパネリストの酒生文弥さん、黒木安馬さん、陳瑞琴さん

引き続き「姫井由美子を囲む会 2018」が開催されました。会場は例年通り、姫井先生の人脈の広さから、人、人、人で溢れていました。国家独唱から始まり、来賓の方々のご挨拶が続きました。その顔触れの幅広さに驚かされました。美しいパースデーケーキも登場し、和やかな楽しいパーティーもお開きとなりました。



国家独唱された物部彩花さん



乾杯！



パースデーケーキ!!!



姫井先生とお母さま、いい雰囲気です！ 姫井先生のお母さま(ドレスが素敵！)と白須代表

一輪の花

先日、高等学校通信教育を受講されている生徒に、総合的学習スクーリング(面接指導)する機会をいただきました。

キャリア教育のスタイルを取り、双方向的なワークを行いました。

具体的には、自己紹介のワーク、自己表現および自己肯定のワークです。

自己紹介のワークでは、生徒の自己紹介に、質問を掛け、会話を重ねていく方法。

これによって『会話することの心地よさ』が体感できます。

自己表現および自己肯定のワークでは、『自身のやりたいことを参加者の前で発表』。

その場で『否定されない体験づけ』を経験していただき、『自己肯定感の芽生え』を目指しました。

みなさん、緊張の面持ちでありましたが、自身の言葉で、自身の気持ちを表現されていました。

高等学校通信教育を受講されている生徒の中には、様々な家庭環境や自身の境遇等があることは容易に想像されます。



参加されたみなさんに、それぞれ内包している問題や課題はあるものの、それに対処する術が見つからない状況が見受けられました。

状況を打開するために、もがき苦しみ、そのストレスから自傷する生徒もいるということです。

今後、不定期であっても、このような生徒さんへのアプローチが可能となれば、未来の釜石地域におけるメンタルヘルスケアの地域予防に繋げていけるものと信じております。何より、健気に咲く『一輪の花』のように、精一杯頑張っている生徒のみなさんの姿が、印象に残りました。

[公明新聞]SDGs(持続可能な開発目標)強化に推進

本日(2月15日)付けの公明新聞にこのような記事が掲載されてい

ました。
『公明党が長年掲げてきた「生命・生活・生存」を最大に尊重する「人間主義」の理念と合致する。SDGsが国際社会の隅々にまで浸透するよう協力に推進していく』。公明党さんには、ケニアにおけるスナノミ症対策でご協力いただいております。秋野公造参議院議員には実際にスナノミ村までお越しいただきました。また、佐々木さやか参議院議員は予算委員会で「スナノミ症」について代表質問をされました。



2月5日には横浜の中華街で佐々木さやか議員の報告会があり、私も出席させていただきました。靴回収に関する展示もさせていただきました。いつもご協力ありがとうございます。



世界凧揚げ交流会 2018@春日部！

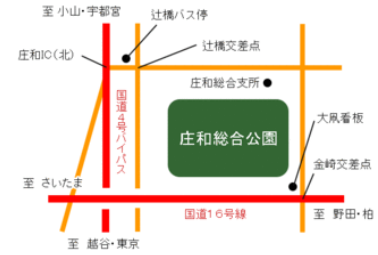
東日本大震災以降毎年続いている、世界をつなぐ「凧揚げ大会」。今年は、大風の町、埼玉県春日部市で開催予定です！私の故郷でもあります。会場には春日部のシンボルになっている大風(なんと高さ11mだそうです！)も掲げられます。



日時： 3 月 18 日(日)13:00～15:00（予定）

場所： 庄和総合公園

毎日新聞:たこ揚げ大使 世界へ 埼玉・白石さん「子どもたち
を笑顔に」／東京



2018 年 02 月 16 日

NGO 勤務の経験と印象

年明けから当法人で働かせていただいています。これまで、国家公務員(昭和51年某省入省)、国連職員 (FAO)、「食と農」関係業界団体と、大学卒業以来、一貫して「食と農」に関連する職場を歩んできました。今は、感染症、難民問題、健康対策など、世界の子どもや女性を含む貧困層、弱者の救済のための業務をさせて頂いています。慣れないことも多い中で、一日が終わって帰宅する時、明日はもっとよりよくできるようにしようと、反省と同時に充実感を感じることも多いです。毎日がその繰り返しです。

昨年末、転職が訪れました。退職後ではありますが、少しでも現場事情を経験し、地についた話ができるようになりたい、そのことで更に自分は成長するかもしれないと思い、日本リザルツの事務所に思い切ってお邪魔したのです。海外の貧困、食料、栄養などの諸課題に間接的でなく直接的に取り組みたい、そのことで、退職者、年配者であっても、長い人生の中で、多少とも社会の役に立ちたいと思ったからです。それと同時に、こうした業務を通じて経験を積むことで、自分の人生も豊かなものになるのではないかと、という個人的な思いもありました。まさに、高齢期にさしかかる労働者の働き方改革の実践でもあります。アジア、アフリカの発展や、SDGsの実現においては、経験のあるグローバル人材が求められる時代です。一日も早く一人前のNGO職員になり、世界の健康、栄養問題の改善にお役に立ちたいと思う日々です。

2018 年 02 月 19 日

OGORAZU: WHY BEING MODESTY ALWAYS GETS YOU RIGHT

Although a leadership position requires you to take decisions on a daily basis, if instead of trying to be superior to your team, you become modest and down to earth, you sure will get better results. In relation to my work at RESULTS Japan, I realize that there are six reasons why modesty is an essential component of leadership:



1. It makes people like you. Being humble is the shortest way to people's good books. When your team likes you, there are better chances of them respecting you and your points of view.
2. It makes it easy for you to manage people. If you're modest, people tend to like you more, and it thus becomes easy to manage them.
3. It makes people respect you. When a leader is modest enough to put his team's interests ahead of his own, more than liking, people start respecting him.
4. It helps you build better relationships. A leader needs to build strong relationships not just with his team, but with people outside his office as well.
5. It makes people feel important. Modest leaders let everyone speak their minds, instead of forcing their opinions on them. They tend to stick by you through thick and thin, and that's your win as a leader.
6. It gives you scope for improvement. Modest leaders are more open to constructive criticism. Your personal growth has a significant role to play in determining your leadership skills.

折り鶴教室(その2)

日本リザルツはケニアのスラム街、カンゲミ地区で結核抑止プロジェクトを行っております。前回、看護師のマーガレットに職員の長坂が折り鶴を教えた話をアップさせていただきました。

その様子を見ていた医療ボランティアを統括するカルヴィンからの「僕もやりたい！」というリクエストに応え、折り鶴教室第二弾が開催されました。建設現場総監督、藤波慎吾さんも参加してくれました。

折り紙がないので、急遽、ノートの切れ端で、四角い紙を作って、折り鶴教室開始です。「久しぶりに鶴を折った！」と藤波さんも懐かしそうでした。



器用なカルヴィン。あっという間に折り方を覚えていました！はじめて折った鶴と一緒に記念写真。うれしそうです。今年はカルヴィンとマーガレットの2人が中心となって、102人の結核患者さんの健康状態を確認する活動を実施しています。2人は今日も折り鶴を持って、患者さんのお宅を訪問します。

カンゲミ検査所建設

基礎工事が始まりました。最初に、建設予定地にあった非常用大型発電機を安全柵を解体して、クレーンを使用して移動しました。



その後、重機を投入して掘削作業が始まります。

手順は以下の通りです。

1. 約 16.5 メートル(縦)×10(横)×1.5 メートル(深さ)の寸法にて地面に穴を掘ります。
2. 建物の土台となる型枠を作り、鉄筋を型枠内部に造形していきます。
3. 型枠の中にコンクリートを流し込む作業となります。



ナイロビでは、3月上旬頃から雨季に入ります。雨が降る前に、上記3.のコンクリートの流し込みまで終わらせることができるよう、現地作業員と一緒に頑張っています。

ワトの歌、ダンスに感動！

2月16日に参議院議員会館1階講堂にて、ウガンダの子どもたち『ワト』を迎えての交流会が開催されました。

ワトは、ウガンダで、親を失った膨大な人数の子どもや弱り果てた女性たちをサポートする取り組みです。祖国再建に向けて、個々を救護することで、最終的には、子どもたちが社会の貢献者として育成することを目指しています。

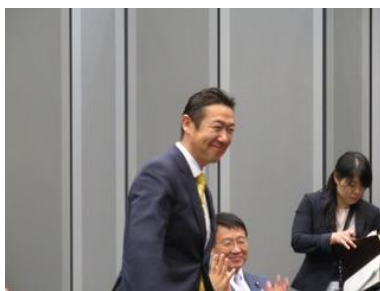
具体的には、ワトは、身体的な介護、HIV /エイズ治療を含む医療処置、正規技術教育、トラウマ・カウンセリングなどの多岐にわたる支援を行っ



ています。

学術と実践的技能、また、道徳的な健全さにおいて、より優れた人格形成を追求することによって、それぞれが責任あるクリスチャンとして社会に貢献する市民となり、アフリカの次世代のリーダーを育てるための活動を実施しています。

私たちの目標は、2023 年までにウガンダの1万の子どもたちをケアし、アフリカ大陸全土における孤児や女性たちの救済に迅速に対応するモデル事業となることです。





2018 年 02 月 20 日

世界中、超カネ余りで債務の山 ドル高・高金利はデフォルトの道

2 月に入っての未曾有の米株価急(暴)落に引きずられて世界同時株価急落が起きましたが、その後急落の半分ほど取り戻すなど、現在株式市場は落ち着きを取り戻しつつあるようです。しかし、今回の急落劇を局地的バブルの破裂として片づけられるかどうか、まだまだ予断は許されないようです。

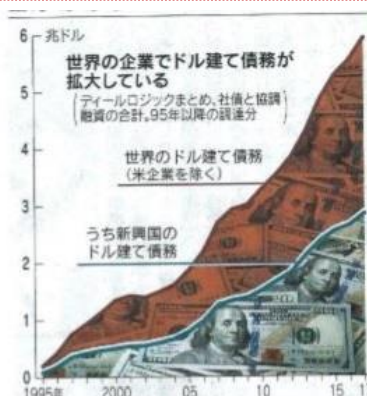
ロイター通信は次のようにベテランの米国投資家のコメントを伝えています。「…市場には、さしたる確信もないまま『パーティー』に加わり、インデックス・ファンドや ETF などの購入を通じて流れ込んだ大量の足の速いお金(ホットマネー)が存在し、先週は恐らくは年内により大きな事件が起きる単なる予兆にすぎないとの見方を示した」(2 月 18 日付ロイター(*))

そうです。何よりも各国中央銀行の超金融緩和と政策によるマネー供給が、空前のカネ余りとなり投機マネー(ホットマネー)となって、あらゆる金融市場に流れ込み、株式バブル、債券バブルとなって現れています。このバブルが立ち行かなくなりつつあることを示したのが、先々週の株急(暴)落劇でした。多分今後とも米株式市場も、そしてそれに引きずられて各国の株式市場も不安定な動きとなっていくと思われます。

一方、この空前のマネー供給により世界的に債務(借金)を膨らませ、とくに途上国や新興国企業のドル債務が急膨張し、グローバルなリスクとなっています(下記の昨日(19 日)の日経新聞記事を参照ください)。その債務は、新興国で 2 兆 8350 億ドル(17 年末、約 360 兆円)にも上っています。

今後、米国の金利上昇とそれに連動するドル高が予想されますが、この二重パンチで途上国・新興国の債務返済や借り換えが滞り、それがグローバルリスクとして顕在化する可能性あり、という訳です。実際、米金利上昇警戒で、新興国からマネーが流出に転じている状況となっているようです(2 月 20 日日経新聞(**))。

こうした金融バブルを抑えるのは、まず中央銀行の超金融緩和と政策を停止することです。日銀の場合、国債等を大量に購入することをやめ、出口戦略を真剣に模索しなければなりません。次に、金融取引税(FTT)を実施し、ホットマネー(投機マネー)の移動にブレーキをかけることです。FTT からの税収を国内外の貧困・格差対策に使用すれば(SDGs 達成に向け)、一石二鳥にも三鳥にもなるでしょう。



【日経新聞】企業のドル債務 膨張 昨年末、世界で 21 兆ドル
ドル高進めば新興国に打撃

世界の企業によるドル建ての借金が膨張している。2017 年末に米国企業を除き 6 兆ドル（約 640 兆円）と 10 年前の 2 倍以上。ドル高が進むと企業の債務返済負担が増え、さらなる信用低下に見舞われる恐れがある。アジア通貨危機を教訓に新興各国は備えを強化しているが、米インフレ観測などから金融市場もドル債務のリスクを意識しつつある。…以下、省略。

(*)【ロイター】古参投資家が警戒、「米株の波乱はまだある」

(**)【日経新聞】新興国マネー流出基調 半月で 76 億ドル

★図表は「【日経新聞】企業のドル債務 膨張 昨年末、世界で 21 兆ドル ドル高進めば新興国に打撃」より

怒りの表現

釜石児童（小学生）にアンガーマネジメントをお伝えする機会をいただきました。自身の怒りについて、絵で表現するワークを実施いたしました。怒りを『眼の血走ったドラゴン（竜）』や『家自体や家族全員が怒っている』とイメージする児童も見受けられました。



様々な色の中から、紫色や赤色といった不安定さや攻撃性を想起させる色を選択する場面が多く、また、単一色での表現が多かったことが特徴的でありました。参加された児童の年齢では、怒りが衝動的かつ他の感情（他色）の混じり難いものであることが窺えます。今回の貴重な情報を踏まえながら、今後の釜石地域の児童メンタルヘルスケアの拡充を目指していきたいものです。



2018 年 02 月 23 日

靴の山(2 月 23 日現在)

リザルツ会議室の靴の山、最新版をお送り致します(2 月 23 日現在)。



第 137 回 GII/IDI に関する外務省・NGO 懇談会について

第 137 回 GII/IDI に関する外務省・NGO 懇談会が、2 月 22 日、午後 2 時から 3 時半、外務省で開催されました。日本リザルツからは、私、小平が出席させていただきました。

リザルツからは、1 月 25 日に行われた、議連合同による栄養シンポジウムの概略を簡潔に報告しました。報告のあと、外務省から次のような総括を頂きました。

「今回のシンポジウムは、リザルツを始めとした NGO の協力を得て、多くの議員が参加されて、本当によかった。また、このシンポジウムは、昨年 12 月の UHC フォーラムにおける安倍総理の 2020 年の栄養サミットの提唱を受けて行われたということで、栄養だけでなく様々な議員連盟の先生からも活発なご発言をいただいた。国会議員だけでなく、関係各省庁からの発表があったこともよかった。今回の議論を踏まえて、国内、国外、あらゆる方面で対応していきたい。ゲイツ財団、国際機関、アカデミアとも協力して進めていくが、NGO の皆様から、是非、インプット、フィードバックをお願いしたい」。

あらためて、関係機関と NGO が協働していくことが重要であると再認識しました。

2018 年 02 月 26 日

【岩手日報・論説】 出国税 一人占めしていいの？

論説では、「国内外の旅行者から集めたお金を日本が一人占めして使ってしまうのもいいのだろうか」と問っていますが、租税法の大家である金子宏東京大学名誉教授も言うように、出国＝日本の領土外での課税による収入は、原則的には国際的課題（感染症とか飢餓とか気候変動対策等の途上国支援）に使うべきでしょう。



【岩手日報・論説】 出国税 一人占めしていいの？

連日の熱戦に沸く平昌（ピョンチャン）冬季五輪、続くパラリンピックで多くの外国人観光客が韓国を訪れている。韓国を離れるとき、千ウォン（約百円）上乗せして航空運賃を払っていることはご存じだろうか。韓国人も含めて出国する国際線にかけられる航空券連帯税。2005年にフランスのシラク大統領が提唱し、フランス、韓国、チリのほか、カメルーン、モロッコなどのアフリカ諸国を含め十数カ国が導入している。税収は途上国のエイズ、マラリア、結核の感染症対策に使われている。フランスや韓国を訪れれば、意識しなくても少額ながら途上国支援をしていることになる。日本では外務省が2010年度以降、「伝統的な政府開発援助（ODA）だけでは資金量が十分でない」として、税制改正に国際連帯税の導入を要望している。有力な選択肢として挙げているのが航空券連帯税だ。これに対し負担と受益の関係が不透明、観光政策に反する一などの反対論が根強く実現していない。航空業界も国際競争力低下を招くとして抵抗している。ところが、18年度税制改正では新税「国際観光旅客税」（出国税）が盛り込まれた。19年1月から、訪日外国人や日本人が出国する際に1人千円を徴収する。仕組みは航空券連帯税と変わらない。用途は快適な旅行環境の整備、海外への情報発信、観光資源の開発。年明けには公衆無線LAN「Wi-Fi」整備を新税で整備する法案を閣議決定した。17年で計算すると、訪日外国人2869万人と出国する日本人1789万人で税収は年465億円余。今後は、東京五輪・パラリンピックを控えてさらに多くの税収が見込める。でも疑

問が残る。旅行環境の整備などは税で賄うべきものか。そして、国内外の旅行者から集めたお金を日本が一人占めして使ってしまったてもいいのだろうか。ODAも負担と受益の関係は薄い、税金から多くのお金を出す国際貢献だ。まだ間に合う。制度設計を変更し、ほんの一部を途上国支援に回してはどうか。納税者から不満は出るだろうか。ベストセラー「世界がもし100人の村だったら」の最新刊「お金篇」に「もしも国際線のチケットに税をかけた」という一節がある。この10年間で集まったのは15億ドル。本書は「もしもすべての国が加わったら1年に少なくとも14億ドルがあつまります」と指摘する。「分断される世界では分かち合い、お裾分けの経済が求められている」。著者池田香代子さんの言葉は重い。

★上記のパナーは岩手日報のWEBのトップページの一部です。なぜ大谷翔平選手の特集が組まれているのかというと、大谷選手は岩手県奥州市出身だからとのことです。

UNRWA のクラウドファンディングがスタート！ #尊厳を守る

日本リザルツは国連パレスチナ難民救済事業機関 (UNRWA) のキャンペーン事務局をしています。

2018 年の国連パレスチナ難民救済事業機関 (UNRWA) に対する支援を米国が大幅に凍結したことを受けて、UNRWA は 5 億ドル (約 555 億円) の調達を目標とした世界的な資金調達キャンペーンを開始しました。ピエール・クレンビュール UNRWA 事務局長は「医療や教育、食料支援が滞り、数百万人の脆弱なパレスチナ難民の尊厳ある暮らしが脅かされる」と米国の拠出凍結による及ぼす影響を指摘しました。セキュリテはこの「#尊厳を守る」キャンペーンに賛同し、寄付サイトを立ち上げました。本サイトで集まった寄付金は全額 UNRWA へ送付させていただきます。パレスチナ難民の尊厳と希望を守るため、ご賛同頂ければ幸いです。



世界風揚げ交流会@春日部①

世界風揚げ交流会@春日部を開催します。

日時: 3月18日(日) 13:00~15:00

会場: 庄和総合公園

春日部から世界へ！

毎年5月3日、5日に大風揚げ祭りが開催される『大風の里 春日部』。春日部の伝統文化を活かし、その魅力を日本、そして世界に発信しましょう！

結核のない世界へ！

かつて日本でも亡国病と呼ばれた結核。今こそ、世界中から結核を根絶しようというメッセージを発信しましょう。3月24日は「世界結核の日」です。

日本は 2020 年までに結核低まん延国にすることを目標としています。

世界中の人たちの心を一つに！

遠く離れた世界中の人たちと、この風揚げイベントを通して、空と心で繋がりましょう！当日会場では、企業 PR 出店、飲食・物品販売が可能です。PR 出店などご希望の方はご連絡ください。



Maggy's effort to make article

Over the last week, Margaret got deeply engaged in making the article to collect information from TB patients. She had collected the information, which is a commendable thing. However, it was really hard for her to type them up as required. As such, revising them was one the hardest things. Basically, everything had to be rewritten for it to read well.

PATIENT VOICE
COLLECTETS NAME, MARGARET
DONE ON 2/18
NAME OF PATIENT, GRACE WAMBUI GITAU 48YRS
SEX, FEMALE
DATE START OF TREATMENT, 28/06/2018
DATE FINISH TREATMENT, 24/1/2018
In early June last year grace started experiencing symptoms of persistent cough, weight loss and lack of appetite. She went for treatment at kangemi health centre, then did an X-ray at Rhodes health centre and diagnosed with TB.
Past hx
No history of TB in the family
Observation
She is fine and only comes for regular clinics because she is on HAART.

But in the spirit of teamwork, we support her to make articles.

Calvin and I showed her how to write good articles for the TB book.

We shared with her some of the edited articles, and she could clearly see the difference in terms of how they had been written.

No. 20	Residence: Gichugi
Patient Name: Evans Mwangi Mwangi	Type of TB: PTB/MDR
Gender: Male	Start of Treatment: 15/7/2016 to 04/05/2017
Age: 39 years	Completion of Treatment: 10/1/2017 to 29/6/2017
Marital Status: Married	Collector's Name(s): Margaret Mwangi
Job: Casual labourer	Date: 15/02/2018
No of Family Members: 2	
Evans developed chest pain, and sudden weight loss. Alarmed, he went to Kenyatta National Hospital where examinations found him to be TB positive. He began his medication just after diagnosis on the 15 th July, 2016. After 6 months, he got healed, and got back to his casual work.	
Again, in May 2017, he developed similar conditions and had to go to the hospital for checkup. Upon the examination, he was found to have TB for the second time round. He was declared an MDR patient, and prescribed medication as such. He had to take a one-month injection together with the six months' oral medication.	
After completion, he is well, and back to his casual work.	
History	
No TB history in the family	
Observation	
His casual work, at construction sites, or other dusty workplaces puts him at a risk of getting a TB infection.	

Revised Article

She tries to do her best for typing. From today, we see how she handles the rest of the remaining patient voices. Her articles are totally changed before.

Thank you so much for her effort!

工事がどんどん進みます！

日本リザルツでは、現在、カンゲミ地区の結核検査所の建築を行っています。建設業者の皆さんのご厚意で、土日も基礎工事が行われています。まず、材料となるコンクリートを作ります。



掘削した場所に鉄筋で作った支柱を、地面に垂直に立てます。支柱が曲がっていないか、1つ1つ確認します。私たちもお手伝いしました。



写真は、毎日、カンゲミに帯同して下さっている警察官のデニスさんです。彼らのお陰で、毎日、安全に活動ができています。



手作りのコンクリートを一番下に敷いた後は、固い石を積んでいきます。地震が起きた時でも壊れないような、耐久性のある建物を作るためです。こちらも全ての石の高さが同じになるように気を付けながら作業を進めます。



現場責任者のモゼスさん。あっという間に石の高さを揃えていくその職人技に、感動してしまいました！基礎工事は2月末には終了する予定です。



2018 年 02 月 28 日

議連合同による栄養シンポジウム(開催報告書)

「議連合同による栄養シンポジウム」開催報告書の表紙写真です。
ご協力ありがとうございました。



長坂投稿記事

長坂のケニアからの投稿記事が 2/28 付けの公明新聞に掲載されました。

